

浦安ユースオーケストラ 活動スタート

青少年にもっと音楽に親んでもらおうと、浦安シティオーケストラと市が協働で立ち上げた「浦安ユースオーケストラ」の活動がスタートしました。入団員は40名。記念すべき第1期生です。

浦安ユースオーケストラ発足式 7月3日

美浜中学校武道場で行われた発足式では、市長や教育長から団員の活躍に期待するエールが送られ、団員の赤羽七海君の誓いの言葉の宣誓で、「浦安ユースオーケストラ」の活動がスタートしました。

発足式後に弦楽器が手渡され、笑顔で楽器を手にした団員の皆さんは、早速初練習を行いました。

1期生は小学生が25名、中学生が8名、高校生以上が7名と幅広い年齢層の青少年たちで、そのうち25名は弦楽器初心者です。楽器を構える表情は真剣そのもの。皆さんの奏でる音楽が今から楽しみです。



楽器を手にしての初練習

団員の声

音楽鑑賞会で聴いた弦楽器の演奏がかっこよくて、自分もやってみたいと思って参加しました。上手になって、後から入ってくる後輩に教えてあげられるようになりたいです。(白幡 京さん)



4月から小学校の部活動で始めたバイオリンがもっともっと上手になりたいので、色々な曲が弾けるようになりたいです。(時岡 亮誠くん)



一人一人の力を伸ばす支援 ～学校における合理的配慮～

浦安市では、これまでも本人や保護者の意向に配慮しながら、一人一人の子どもの持てる力を伸ばす学習環境づくり、個に応じた適切な支援・合理的配慮の提供に努めてきました。

平成28年4月1日から「障害者差別解消法」が施行

- ▶ 障害を理由とする「不当な差別的取扱い」の禁止
- ▶ 合理的な配慮を必要とする旨の意思表示を受け、過度の負担ではなく、実施可能な場合の「合理的配慮の提供」の義務化

学校における「合理的配慮」の例

- ▶ 視覚障害（弱視）のAさんには…教室の明るさを調整するためにカーテンを活用する など
- ▶ 学習障害（LD）のBさんには…黒板に書かれる（書かれた）内容を印刷して配付する など
- ▶ 聴覚障害（難聴）のCさんには…座席を聞こえやすい位置にする
- ▶ 知的障害のDさんには…話し言葉による要点を簡潔な文字にして表記する など

合理的配慮の提供には本人や保護者からの意思の表明が必要です

「合理的配慮」については、本人、保護者の意向をもとに、学校と話し合っ決めていきます。お悩みのことがありましたら、7月に各学校から配付される「合理的配慮の提供について」をご覧ください、学校へ連絡してください。



姿勢が保ちやすい机・椅子